

地方創生加速化交付金事業進捗評価調書(29年度実績)

担当課名	商工観光課
------	-------

【事業の概要】

交付金事業	「日出の幸」ブランド化ステップアップ事業 (観光)		計画期間 H27～H28	総事業費	10,988 (10,987)
	事業目標	観光入込客数 150万人(H31年度)			
現状と課題	<p>・日出ブランドを活用した取り組みを観光振興へつなげるため、「城下かれい祭り」などイベント開催によりPRに努めている。今後は「大神深江の朝市体験」等組み込んだツアー企画や賞味イベント開催などに取り組む。また、食文化とともに豊かな自然、歴史に根ざした伝統文化や四季折々の表情を紙面や映像で広く紹介することにより、観光客誘致に取り組む。</p>				
事業概要	目的	町に存在する豊富な地域資源を活用した観光産業の振興と交流人口の増加を図る	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の産品を活用した取組の推進 ・観光振興や交流人口の増加に取り組む事業所や地域住民・団体の支援 ・地域産品等のPR活動・情報発信の充実 	

【事業実施計画・実績】

(単位:千円)

事業実績及び年次計画				
年度	H27(実績)	H28(実績)	H29(実績)	
実施計画	<ul style="list-style-type: none"> ・「日出の幸」PR委託費(ラッピングトラック、観光看板等) ・のぼり、法被製作費 ・広告宣伝費 	<ul style="list-style-type: none"> ・PR映像制作費 ・PRイベント広告宣伝費(「城下かれいキャンペーン」「ちりめんキャンペーン」) ・PRノベルティ作成費 ・フォトコンテスト開催費 	<ul style="list-style-type: none"> ・PRイベント広告宣伝費(「城下かれいキャンペーン」「ちりめんキャンペーン」) ・漁船クルーズを組み込んだツアーやイベントの実施 	
事業費	3,458	7,530		
うち一般財源	0	1		

平成29年度の事業概要

・PR映像活用
28年度に制作したPR映像をイベントや観光施設での上映、旅行エージェント等への営業活動で活用する。また動画をSNSに掲載し、拡散を図る。

・「城下かれいキャンペーン」「ちりめんキャンペーン」の開催
地域を代表する特産品のPRと消費拡大を促進し、漁業・飲食業の振興と観光振興につなげる。風情ある日出城址周辺エリア、歴史・自然・アート等のスポットが数多く存在する大神海岸線エリアなど、多くの町の観光資源を視覚・聴覚に訴求する方法でより多くの人にPRするために映像制作した。今後はイベントや観光施設での上映、旅行エージェント等への営業活動に活用していく。

【その他の関連事業】

事業目標のために関連するその他の事業
<p>・城下かれい長期育成事業 海面養魚場の活用により中間育成技術を高め、放流効果が向上するような育成実験を行い、増殖技術の確立を図る。</p> <p>・日出の幸消費拡大事業 漁協、農協と連携して牡蠣・鱧・ナマコや日出の農産物等のPR事業・販売促進に取り組む。</p>

【目標指標】

指標(KPI)	単位	基準値	年度			
			H27	H28	H29	
観光入込客数	人	107万	目標値	110万	120万	130万
			実績値	115.4万	111.6万	113.0万
			目標値			
			実績値			

【事業の達成状況と今後の展開について】

評価	事業の達成状況	
○	H27	看板、のぼり、法被などの製作や「城下かれい」パンフレット作成したことにより、物産展やイベントにて活用・PRすることができた。また、日出町への観光客数が一番多い福岡県をターゲットとした雑誌等にて情報発信を行った。
△	H28	4月に発生した熊本・大分地震により観光入込客数が目標値を下回った。日出町は震災による大きな被害はなかったが、5月大型連休前の発生であり、大幅な減少となった。このような状況であったが、各キャンペーンの開催を通じて、町内飲食店の振興が図られた。また、PR映像制作して活用し、PRすることができた。
△	H29	28年度の熊本・大分地震後の「ふっこう割」が28年12月で終了した。これにより29年度の客数は年間の半分以上の月で前年度数値を下回る結果となったが、外国人客は増加傾向である。「ひじはく」は29年度目を迎え、定着しつつある。

※評価:◎計画を上回る ○計画どおり △やや下回る ×不十分

【今後の方針・課題】

<p>・特産品の情報発信は広域に拡大し、県外客は増加傾向にある。この流れをさらに推進させていきたい。</p>
--